

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【外国語活動】

1. 対象 4年生

本学級の児童は、外国語活動を楽しみにしている児童が多い。歌やチャンツを通して外国語のリズムに慣れ親しんだり、外国語を使って友だちや担任、ALTに伝えようと意欲的に取り組んだりする様子が見られる。特に今年度は、ALTに日本語がほとんど通じないため、英語を使って伝えようという意欲がより高まっている。

既習の言語材料をくり返し練習して慣れ親しませながら、本単元での新たな表現を使って、自分の伝えたいことが伝えられたり、友だちの質問に答えたりする活動を楽しませたい。

2. 単元名 「Do you have a pen?」（全4時間）

3. 単元の目標

知識及び技能	文房具などの学校で使うものや、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
思考力, 判断力, 表現力等	文房具など学校で使うものについて、尋ねたり答えたりして伝え合う。
学びに向かう力, 人間性等	相手に配慮しながら、文房具など学校で使うものについて伝え合おうとする。

4. 本時の目標

友だちが欲しいと思っている文房具セットを作るために、相手に配慮しながら伝え合う。

5. 授業展開【本時・単元】

解決したい課題や問い

友だちが考えた文房具セットを作るために、知っている英語を使って伝え合おう。

考えるための材料

- ・デジタル教材のチャンツ（Do you have～？）
- ・How many ～？の歌 ・フラッシュカード ・文房具セットを作ることができるデジタル教材

想定される活動

- ・既習表現を使って、友だちに尋ねたり聞き取ったりして、友だちが考えた文房具セットを作る。
- ・言い方が分からなかったり、知らなかったりするときに、友だちや教師に確認しながら英語を使って伝え合おうとする。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

ペアで質問をし合う活動をする（15分間）。分からない言葉は、友だちや教師に確認をしながら、英語で言える言葉を増やすようにする。

A: Do you have a pencil?

B: Yes I do.

A: 何本？ってなんて言うんだっけ？

B: How many? じゃない？

A: How many?

B: Five!

A: 5本ね…。できた！Do you have…消しゴムって？

B: 「eraser」読み方が分からないなあ…。

出来上がったら、役割を交代して、文房具セットを完成させる。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・友だちに質問をする言葉がたくさん分かったよ。
- ・自分で言おうと思うと、まだ言い方が分からない英語があったけれど、〇〇さんが教えてくれて言えるようになったよ。